

# 謹賀新年

12月11日 火之神公園

平成29年(2017年)がいい年でありますように  
皆さまのご健勝、ご多幸、ご活躍を心からお祈りします

## 日本にひとつだけの夢

枕崎市長  
神園 征



枕崎の港は言うまでもなく漁港です。漁港を整備するに当たっては、漁港漁場整備法に基づいて行われます。枕崎漁港は、カツオをはじめ、サバやアジなど多くの水産物が水揚げされ、消費者に提供する拠点漁港となっています。

日本一の生産量を誇る鯉節の原魚となる冷凍カツオは、主にミクロネシアやインドネシア等の南方漁場で漁獲されていますが、漁獲されたカツオの調達は、海外まき網漁船

や運搬船で枕崎漁港に水揚げする方法と、現地の港でコンテナに荷詰めし、大型のコンテナ船で博多港を経由して、トラックで輸送する方法で行われています。

近年、南方海域における漁場環境は、入漁料の高騰などで厳しさを増しており、今後はコンテナによる調達方法が増加すると言われています。

こうした中、平成25年に枕崎漁港が物流拠点漁港として、地域産業の振興に寄与す

るため、コンテナヤード整備の実現を図ることを目的に各種団体で構成する「枕崎漁港コンテナヤード整備促進協議会」を設立して、協議を重ねるとともに、コンテナ貨物の輸出入可能性調査も進めています。

現在、枕崎漁港では、水産物の水揚げ施設の整備が進められており、昨年4月には新しい市場(荷さばき所)が整備され、高度な衛生環境のもと、カツオの荷さばきが順調に行われています。

漁港漁場整備法では、漁港で整備する対象施設として「コンテナヤード」の記載がなく、その整備実績の前例はありませんが、「漁港におけるコンテナ取扱施設」として、9月に三反園訓鹿児島県知事へ整備の要望を、また、10月には地元選出の野間健衆議院議員と尾辻秀久参議院議員へ整備の協力を求める要望と水産庁漁港漁場整備部の高吉晋吾部長への整備の要望を行いました。なお、野間健衆議院議員、尾辻秀久参議院議員には、県知

事への要望、水産庁の要望にもご一緒いただきました。

現在は、枕崎漁港における「水産物コンテナ取扱施設」と「コンテナ船接岸岸壁」の整備を含めた計画策定に向けて作業が進められています。

整備計画が策定され、供用開始に至るまでは今後さまざまな手続きも発生するものと思いますが、完成すると日本で初めて漁港において直接コンテナにより水産物が水揚げされるとともに、水産物等の流通がさらに円滑に行われることとなります。

このことは、新たな仕事が生まれ、物流が促進されるなど、産業振興において大きなメリットとなり、枕崎漁港を活用したさまざまな製品の輸出入拡大へとつながっていくものと考えます。

今年も幸多い一年なることを期して、一緒に頑張ります。